時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月刊休刊
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢の郵費ヲ申受ク
時事新報廣告料（前金）

一行平均四十字詰	一日	一日以上七日以上	七日以上
一行	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付
東京府下を始め各府縣に通信社二るものありて場より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を環飾するより各社同一の記事を掲ぐるあと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せざと雖も世間往々此事を知らずして通信社にこへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

政海の近情

は日々に變化するのみならず今朝聞得たる實事談は夕に至りて實ならざるを發明するあとあり蓋し我輩が之を聞くに迂濶にして實を誤るに非ず實際の變化甚だしくして朝夕相同じからざるが故なり故に今爰に筆を下して記す所のものも忽ちにして非なるあとある可し其邊は豫め讀者の推諒を期して目下唯我輩が聞得たるまゝに從ひ政海の前途を想像すれば其成行甚だ茫然として歸着する所を知らざるが如し或人の説に桂方總理は近來大に説を決して固く現在の地位を守ると同時に從來政府の處行中にて非なるものは之を改むるに憚からず彼の世間にてヤツキ組と唱ふる老官吏輩の擧動の如きは單に民黨を挑發して其怒を買ふに過ぎずとて端く之を撲斥し所謂誠意誠心以て國務に當るの覺悟あれば何れ近日の中に地方官の更迭もあり可く或は尙ほ高き内務省の邊にも多少の變動を見るあとならん要するに總理の決心は今の民黨を以て畢生の敵と爲すものに非ず其攻擊の點にして果して政府の非に出でるものは之を改むるに吝ならざれども政權維持の一義に至りては其職權を守りて寸歩も讓らず彼の舊幕の老政客との關係の如きも毫も會釋する所なく斷然その見る所を行ふの覺悟なりと云ふものあり右の一説を始く事實と爲し政府の決心は先づ此邊にありと見て扱て實際に其決心の通り行はるれば甚だ妙なれども更に一般の事情を察すれば中々安心ならざるものあるが如し曩程發金したる國民協會なる一種の團體は其名目を社交倶樂部と稱するも一般の見る所にて政黨の實は免る可らずして之を準ふるものは西郷品川の兩柳密顧問に兩人とも能く世間の上いよ〳〵遠謀を始むる者のごとしなれども聞く所に據れば此團體の金に付き現政府の關係は知る者もあれども少なからざる者もありて全體の上に於ては雲見報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり

官報

○内務省訓令第十二號

内務大臣伯爵松方正義
廳府縣
集治監　假留監
臨時横濱築港局

明治二十三年常省訓令第十號第一項中典獄ノ下ヘ「臨時横濱築港局」ノ十字ヲ挿入ス
明治二十五年六月三十日

○宮内省達甲第四號

内務大臣伯爵松方正義

明治二十二年十二月達第二十二號學習院官制中院長ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
明治二十五年六月三十日
宮内大臣子爵土方久元

能登地震

○一昨日の東京市會は午後四時三十分より開議し情本議長は第六十號議案即東京灣港湾機構費調査委員の報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり

官報

○内務省訓令第十二號

内務省訓令第十號（明治二十三年三月十三日）抄録
第一項
一會計規則第九十六條ノ部局長ハ警視廳ハ警視監北海道廳ハ長官府縣ハ知事樂治監留守監ハ典獄ヲ以テ但島嶼ハ島司北海道樂治監北海道廳監獄ハ典獄北海道樂治監ハ分監長札幌農學校ハ學校長北海道廳所轄區役所ハ警區長ヲ以テ部局長ノ代理官ト爲スコトヲ得

官報

○内務省訓令第十二號

第一項
一會計規則第九十六條ノ部局長ハ警視廳ハ警視監北海道廳ハ長官府縣ハ知事樂治監留守監ハ典獄ヲ以テ但島嶼ハ島司北海道樂治監北海道廳監獄ハ典獄北海道樂治監ハ分監長札幌農學校ハ學校長北海道廳所轄區役所ハ警區長ヲ以テ部局長ノ代理官ト爲スコトヲ得

能登地震

○一昨日の東京市會は午後四時三十分より開議し情本議長は第六十號議案即東京灣港湾機構費調査委員の報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり

時事新報

政海の近情

は日々に變化するのみならず今朝聞得たる實事談は夕に至りて實ならざるを發明するあとあり蓋し我輩が之を聞くに迂濶にして實を誤るに非ず實際の變化甚だしくして朝夕相同じからざるが故なり故に今爰に筆を下して記す所のものも忽ちにして非なるあとある可し其邊は豫め讀者の推諒を期して目下唯我輩が聞得たるまゝに從ひ政海の前途を想像すれば其成行甚だ茫然として歸着する所を知らざるが如し或人の説に桂方總理は近來大に説を決して固く現在の地位を守ると同時に從來政府の處行中にて非なるものは之を改むるに憚からず彼の世間にてヤツキ組と唱ふる老官吏輩の擧動の如きは單に民黨を挑發して其怒を買ふに過ぎずとて端く之を撲斥し所謂誠意誠心以て國務に當るの覺悟あれば何れ近日の中に地方官の更迭もあり可く或は尙ほ高き内務省の邊にも多少の變動を見るあとならん要するに總理の決心は今の民黨を以て畢生の敵と爲すものに非ず其攻擊の點にして果して政府の非に出でるものは之を改むるに吝ならざれども政權維持の一義に至りては其職權を守りて寸歩も讓らず彼の舊幕の老政客との關係の如きも毫も會釋する所なく斷然その見る所を行ふの覺悟なりと云ふものあり右の一説を始く事實と爲し政府の決心は先づ此邊にありと見て扱て實際に其決心の通り行はるれば甚だ妙なれども更に一般の事情を察すれば中々安心ならざるものあるが如し程發金したる國民協會なる一種の團體は其名目を社交倶樂部と稱するも一般の見る所にて政黨の實は免る可らずして之を準ふるものは西郷品川の兩柳密顧問に兩人とも能く世間の上いよ〳〵遠謀を始むる者のごとしなれども聞く所に據れば此團體の金に付き現政府の關係は知る者もあれども少なからざる者もありて全體の上に於ては雲見報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり

時事新報

政海の近情

は日々に變化するのみならず今朝聞得たる實事談は夕に至りて實ならざるを發明するあとあり蓋し我輩が之を聞くに迂濶にして實を誤るに非ず實際の變化甚だしくして朝夕相同じからざるが故なり故に今爰に筆を下して記す所のものも忽ちにして非なるあとある可し其邊は豫め讀者の推諒を期して目下唯我輩が聞得たるまゝに從ひ政海の前途を想像すれば其成行甚だ茫然として歸着する所を知らざるが如し或人の説に桂方總理は近來大に説を決して固く現在の地位を守ると同時に從來政府の處行中にて非なるものは之を改むるに憚からず彼の世間にてヤツキ組と唱ふる老官吏輩の擧動の如きは單に民黨を挑發して其怒を買ふに過ぎずとて端く之を撲斥し所謂誠意誠心以て國務に當るの覺悟あれば何れ近日の中に地方官の更迭もあり可く或は尙ほ高き内務省の邊にも多少の變動を見るあとならん要するに總理の決心は今の民黨を以て畢生の敵と爲すものに非ず其攻擊の點にして果して政府の非に出でるものは之を改むるに吝ならざれども政權維持の一義に至りては其職權を守りて寸歩も讓らず彼の舊幕の老政客との關係の如きも毫も會釋する所なく斷然その見る所を行ふの覺悟なりと云ふものあり右の一説を始く事實と爲し政府の決心は先づ此邊にありと見て扱て實際に其決心の通り行はるれば甚だ妙なれども更に一般の事情を察すれば中々安心ならざるものあるが如し程發金したる國民協會なる一種の團體は其名目を社交倶樂部と稱するも一般の見る所にて政黨の實は免る可らずして之を準ふるものは西郷品川の兩柳密顧問に兩人とも能く世間の上いよ〳〵遠謀を始むる者のごとしなれども聞く所に據れば此團體の金に付き現政府の關係は知る者もあれども少なからざる者もありて全體の上に於ては雲見報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり

○英船ハイホン沈没の續報　一昨日の東京市會は午後四時三十分より開議し情本議長は第六十號議案即東京灣港湾機構費調査委員の報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり

○兇漢就縛の詳報　一昨日の東京市會は午後四時三十分より開議し情本議長は第六十號議案即東京灣港湾機構費調査委員の報告ありと宣告し書記に該意見書を朗讀せしめ右の如き政黨の成行を如何と云ふに其性質は今の民黨に反對なるのみならず寧ろ反對の必要より起かたるものにて此一團に於ては政府と利害を同ふするが如くなれども内情を云へば或は今の當局者の處置に滿足する能はざる者も多からんと雖も事に當らんとするの情あきらかに陽に政府の方針を賛成せしめんと欲するの意味なきに非ざる可けれども運動の實際は一々政府の向ふ所に伴ふあとを得ざるのみか時としては反對の擧動なしとも云ふ可らず今日に於ては此團體が其目的の通りに成立するや否やも未だ知る可らずと雖も愈よ成立して政治上に勢力を占むる上は自から一種の政黨として自由自在に働を逞ふするものにあるべからんなれば政府の爲めに利する所は極めて少なからざるを待ず而して更に尙ほ掛念す可きは黒幕老政客の擧動なり近來は其人々の政府部内に於ける勢力も薄の如くならざるか或は他に不如意の事情にてもあるか殊更に閑散を粧ふて江湖の漫遊を事とするものさへある其處に現政府當局者の決心いよ〳〵前説の如くにしていよ〳〵黒幕との緣を絶つにも至れば其人々は益々閑却して英雄肆肉の嘆きを待ざる可し黒幕の老政客にして全く政治上の念を絶ちたりとあれば夫まで成れども其人々の年來の經歷と云ひ又今日の地位と云ひ未だ肆肉の生ずると許さゝるの事情もある可きが故に今後の風雲は如何あるべき乎是れ亦等閑視す可らざる所なり又黒幕の老政客なり何れも其源を同ふして等しく明治政府の流を酌むものなれども今日の如く互に利害を異にして岐路に流るゝ其成行に一任するときは遂には相互に衝突して大破裂を致すやも知る可らず而して其結果は意外にも其流の人々の反對なる民黨の利となり或は朝野聯立の内閣を見るに至るやも亦知る可らず我輩は今の政海の事情を想像して其何れに歸着するやを知るに苦しむものなり